

## 平成 21 年度大磯町教育委員会第 3 回定例会会議録

1. 日 時 平成 21 年 6 月 17 日 (水)  
開会時間 午前 9 時 00 分  
閉会時間 午前 10 時 10 分
2. 場 所 大磯町役場本庁舎 4 階委員会室
3. 出席者 清 田 義 弘 委員長  
大 橋 伸 明 委員長職務代理者  
石 塚 洋 委員  
福 島 睦 恵 教育長  
二挺木 洋 二 子ども育成課長  
林 正 人 子ども育成課主幹  
大 隅 則 久 子ども育成課子育て支援室長  
和 田 勝 巳 生涯学習課長  
山 口 章 子 生涯学習課図書館主幹  
佐 川 和 裕 生涯学習課郷土資料館主幹  
山 口 信 彦 子ども育成課主査  
片 野 剛 志 子ども育成課主事
4. 傍聴者 1 名
5. 前回会議録等の承認
6. 教育長報告
7. 報告事項  
報告事項第 1 号 平成 21 年大磯町議会 6 月定例会について  
報告事項第 2 号 (仮称) 子育て支援総合センター建設について
8. その他

## (開 会)

出席委員が4名で定足数に達しており、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第13条第2項の規定により定例会は成立し、大磯町教育委員会会議規則第14条及び第19条の規定により傍聴を許可。暫時休憩ののち傍聴人が入室し再開した。

## (前回会議録等の承認)

委員長より前回会議録の項目を読み上げ、出席委員全員の承認を得る。

## 教育長報告

教育長) 私からは、平成21年5月定例会が開催されました平成21年5月20日から本日までの教育委員会諸行事等について報告させていただきます。お手元の執行状況表をご覧ください。5月20日5月定例会後、午後から小磯幼稚園を訪問し、現状視察、先生方との意見交換を実施しました。5月21日中地区教職員組合定期大会に出席いたしました。5月22日群馬県桐生市で開催されました関東甲信越静市町村教育委員会連合会総会に清田委員長、大橋委員長職務代理人、事務局職員2名が出席いたしました。5月23日国府中学校体育祭、31日には大磯中学校運動会が快晴のもとで行われました。各委員におかれましてはご出席頂きありがとうございました。5月26日臨時議会が開催され、議員職員特別職期末勤勉手当引き下げにかかる条例が審議され可決されました。5月28日(仮称)子育て支援総合センターの整備計画について地元国府新宿の方々に対する地域説明会を開催いたしました。5月29日大磯国府両中学校の修学旅行の実施にあたり、新型インフルエンザに対応した修学旅行の取り扱いについて、学校長と教育委員との協議を行いました。国府中学校が6月7日から大磯中学校が6月12日からいづれも3日間京都奈良へのコースでしたが両校とも全員無事に帰ってきたと報告を受けております。6月2日から12日にかけて大磯町議会6月定例会が開催されました。詳細につきましては後程、事務局の方よりご報告いたします。6月3日環境保全や子ども育成活動をおこなっていますNPO法人リ・ライフスタイルから大磯国府両小学生が取り組んでいますエコキャップ運動に対して感謝状が贈られました。6月8日県教育委員会による大磯中学校及び国府小中学校生沢分校の視察がありました。6月11日第2回小磯幼稚園統合に係る保護者との作業部会を開催いたしました。6月14日郷土資料館学習参考資料展「みんな集まれ大磯生き物たんけん隊」の一環として城山公園と郷土資料館の探検ツアーを開催いたしました。当日19名の参加がございました。また、5月2日か6月14日まで開催されました「みんな集まれ大磯生き物たんけん隊」には4,011名の来場がございました。その他別添資料のとおり各種団体における行事が開かれ担当職員が出席いたしました。また、今後の予定につきましては裏面の執行予定表をご覧ください。以上でございます。

## 報告事項第1号 平成21年大磯町議会6月定例会について

子ども育成課長) 私の方から平成 21 年大磯町議会 6 月定例会につきまして報告させていただきます。まず 6 月議会につきましては、6 月 2 日から 6 月 12 日までの会期で行われました。初日の 6 月 2 日には報告案件が 2 件、工事請負締結が 2 件、備品購入契約締結が 4 件、上程されてございます。教育委員会関係では繰越明許の報告につきまして、子育て応援特別手当事業ということで報告をしております。子育て応援特別手当の繰越、これは 3 月に補正予算で承認を得たものでございましてその報告でございます。また、事故繰越報告ということで、(仮称) 子育て支援総合センター整備事業、および月京幼稚園施設整備事業、これは設計の遅れということで、2 件の事故繰越について報告をさせていただきました。続きまして、教育委員会関係といたしまして、工事請負締結につきましてお手元の資料にありますように 2 点、まず、(仮称) 月京幼稚園新築工事の契約の締結でございます。これは議案第 29 号として上程をしております。この件につきましては財政課の案件になりますけれども、まず初めに財政課の方から入札の経過説明等がございました。入札日は 5 月 22 日に行いまして、別紙のとおり大和小田急建設株式会社に落札をしております。契約額は 357,224,700 円ということになります。それについての契約関係の説明が財政課長からございまして、私の方から工事の概要につきまして図面で説明してございます。この議案につきましての主な質問につきまして、まずあそこの地域全体が生沢活断層ということなので、このことを知っているか、その辺でどのような対策をといるかという質問がございました。あそこの地域全体が生沢活断層ということは知っているとお答えしております。耐震につきましては建築基準法に則って建築を進めているとお答えさせていただきます。解体工事がこの契約には含まれてございますので、その辺の契約に関する質問がございまして、この工事は継続事業でございますので、先ほどの契約額 357,224,700 円は解体も含めた工事となっております。予算はついていないけれども契約は解体工事も入っているということで説明をさせていただきます。

保護者の要望はどのようなものがあつたかということで、主なものについては、保護者がお迎えに行く際に各幼稚園には屋根がある部分がございます。今回の幼稚園につきましては、その屋根の部分のたまり場みたいなものがないので、その辺どうかということが保護者の方からございまして、今回の幼稚園は保育室の南側に屋根つきのデッキのようなものがございまして、そこが靴を脱いであがる場所ではないので、雨の際はそこでお待ちいただくと考えていると回答してございます。契約関係のご質問で入札額がまとまり過ぎているのではないかとご指摘がございました。幼稚園の送迎の関係で近所の道路の方に迷惑にならないようにというご指摘もございました。建物に関して取り付け道路を作つてそこに入って乗り降りをしてもらうというようなことで配慮しているということで説明させていただきました。

国府保育園の関係で、国府保育園を立て直す予定と 4 校 1 園の関係の質問がございまして、当面国府保育園につきましては、改修等でも国庫補助金をいただいて改修をしておりますので、当面は立て直しは考えていないということと、認定子ども園というようなお話もございましたので、その辺につい

ても幼稚園、保育園の連携型でやって行きたいという答えをさせていただきます。以上が議案 29 号の関係の主な質疑でございました。採決の結果、全員が賛成ということで承認されてございます。

続きまして、議案第 30 号工事請負契約の締結についてということで国府中学校校舎耐震改修工事の請負契約の案件でございます。これにつきまして財政課の方から入札の経過説明等がございまして、私のほうから図面に基づきまして工事の概要について説明いたしました。この案件についての主な質問については、外壁の色、トイレの工事の内容、I S 値の関係の質問がございました。外壁についてはある程度基本の色を示しまして生徒等に投げ掛けて決定していきたいと回答してございます。トイレ工事については、トイレ工事の詳細な説明をさせていただきます。検討会については、大磯中学校の時は検討会を設けて設計等のご意見を聞いておりましたけれども、その関係で今回は検討会を設けなかったけれども保護者や先生からも設計の時にご意見を聞いているというような回答をさせていただきます。I S 値につきましては、一番弱いところは 0.52 から 0.83 に 0.75 以上の基準に上げているが他の場所はどうかというご質問でございます。他の場所についても少しずつ値は上がっているとお答えしてございます。シックハウスの関係はどうかというご質問がございました。材料等についてと工事が終わった際は、環境測定等をおこなっていくとお答えしてございます。質問の中で耐震工事費と改修費についてのご質問がございまして、耐震工事費につきましては 2 千 5 百万円程度の費用となっているとお答えしてございます。2 千 5 百万円程度の改修費なのになぜもっと早く工事をしなかったのかというご指摘をいただきました。採決の結果この案件に関しましても全員が賛成ということで承認されてございます。

続きまして、一般質問の関係でございます。6 月 9 日と 10 日に教育委員会関係では 7 人 8 件の質問がございました。まず 1 ページでございますけれども竹内恵美子議員から生沢プールの今後についてのご質問をいただきました。町長の方からは教育委員会や地域の方からプールの整備を要望されている、平成 23 年度内を目途にプールの整備を検討しているという答えをさせていただきます。再質問で今年のプールの学校授業の予定はどうかということと整備検討の内容はという質問がでました。まず、学校授業の予定につきましては、今年度につきましては 1 学年 1 回で予定しており、低学年 1 年生 2 年生については昨年同様バスで送迎する。プールの使用については有料で協議していると回答してございます。整備検討内容については、スポーツ健康課長の方から小学校内にプールの整備を予定している、時期については 23 年度ということでこれについて下水道事業の接続の関係がございまして 23 年度になると説明してございます。プールの形態についても大きいプールと小さいプールを検討している。あとは法的な手続きについて、また検討を進めていくと回答してございます。ご指摘としては、水泳授業については各 1 回では少ないのではないかもっと、多くしてはどうかというご指摘と保護者等にも説明をしていただきたいということと、工事の関係で工事費の概算や下水道関係の金額がどれくらいかというご質問をいただきました。大体、整備費については 2 億円、浄化槽については 1 千万円くらいかかるということで

1 千万円、先にやってしまうと無駄になってしまうので下水道と一緒にやると回答してございます。

続きまして、2 ページになります。清水弘子議員からこれも同じくプールの関係で、いつできるのかということ、「夏のプールの授業は」についてご質問でございましたので教育長の方から竹内議員と同様に水泳授業についてはプリンスホテルでやっていきたいと回答してございます。町長の方からも先ほどと同様な内容で 23 年度内を目途に整備を検討していると回答してございます。再質問で学校水泳時間はある程時間数は決まっているのではないかと、1 学年 1 回では少ないのではないかとというお話がございました。教育長の方から水泳時間については、特には決まっていないというお答えをしております。送迎等の関係やプリンスホテルのプールの形状で落ち着かないということも聞いているので照ヶ崎プールなどはどうかというお話がございました。照ヶ崎プールについては、来年度に向けて選択肢の 1 つとして考えているとお答えしてございます。

続きまして、3 番目の坂田よう子議員からは、町立幼稚園の将来構想、スケジュール、保護者への補助金、国の無償化の動き、子育て支援の強化ということでご質問をいただいております。教育長の答弁といたしましては、町立幼稚園の将来構想、スケジュールにつきましては 3 月の定例会等で決定いたしました事項についてご説明してございます。長期計画では 2 園の廃園跡地は私立を誘致し、4 園体制の維持ということで 23 年度を統合年度として、スケジュールについては保護者との検討会を重ね、今年の 12 月の議会で条例改正を上程していくというスケジュールの説明をしております。保護者への補助金等の関係については、現在、作業部会でも要望されているということで検討中であると答えてございます。国の無償化の動きに関しても、国の無償化の動きの説明、それによる子育て支援の強化の説明をしております。再質問では、今回の 4 園体制 2 園公立の真の理由はということと、土地建物について売ってしまうのか、幼稚園の金曜日の開放がどうなるのかということ、国の補助金の幼稚園奨励費という補助制度について大磯町は単独でもやっていくのか、それと各市町村の就園補助の単独実施状況はどうかというご質問がございました。小磯幼稚園から大磯幼稚園を選んだ場合に距離的に遠くなるので通園についてはどう考えているのか、それと公立から民間に変わって幼稚園を変えることで先生も変わって来るのでその辺の考え方はどうかという質問をいただいております。まず、将来構想については平成 17 年度の財政健全化計画により教育委員会も平成 17 年から検討し 18 年に方針は決定したけれども時期については入れていないため、今回、時期について検討させていただいたという説明をさせていただきました。土地建物については保育園が建物は無償譲渡、土地については無償貸与ということで同様の形になるのではないかと報告させていただきました。幼稚園開放については、私立幼稚園を誘致していく際に開放の要望等について条件に入れていく話をしております。私立幼稚園への援助の関係については、国の制度である私立幼稚園奨励費補助金の説明と近隣の平塚、秦野、二宮、伊勢原の各それぞれ単独で国の制度と別に補助の支給をしておりますのでその辺についての説明をさせていただきました。通園関係では、バスを出してほしいと法定

期代等の質問については作業部会でもそのような質問が出ておりますけれども、配慮していきたいという回答をしております。先生の切り替えについても配慮していくという回答をしております。

続きまして、8 番奥津勝子議員の質問ですけれども、教育委員会への質問としましては、地球温暖化への取り組みについての中の（２）教育環境の取り組みはということで、教育長の方から教育環境の特にハード面のことをお答えしております。今回の国府中学校については、太陽光発電と夜間電力を活用したエアコンの整備、新しい幼稚園については、太陽光発電や雨水利用の設備を整えて環境的な配慮をして、環境問題へ取り組んでいるとお答えさせていただきました。再質問については特にはございませんでした。

続きまして 12 番柴崎茂議員からこれは直接的に教育委員会への質問という訳ではなく、全体的な総合計画の中期基本計画を見直しているところですが、この辺の見直しについての質問でございました。町の方は、中期基本計画に着手しているが、これまでの進捗状況を点検して計画を見直しを図っていくと町長からの回答でございました。教育長も同様に教育委員会についても定期的に見直しをしていくと回答しております。

それから続きまして浅輪いつ子議員から幼稚園の統合についてのご質問をいただきまして、坂田議員と同様の答弁をしております。再質問の中で一点、幼稚園の運営費に係る交付税措置の再質問がございましたけれども、交付税措置については、計算上であり、実際には交付税を全部に当てられないということで財政課長の方から答弁しております。この辺は答弁が中々噛み合わなかった所でございます。

続きまして 15 番鈴木京子議員でございます。一点目は小磯幼稚園の廃園問題についての質問でした。これについても同様のお答えをしております。教育長の方に進め方についての質問がございまして、進め方につきましては、現在様々な課題を保護者と検討しているというような答弁をしております。再質問で進め方について条例を改正してから業者を決めるのはおかしいのではないかとのご指摘がございました。教育長の方からは、議会に統合を認めていただいてから事業者を選考したいということで答弁をさせていただいております。学校プールについても同様なご質問で他の議員と同様なお答えをしております。その中で早い時期にお願いするという要望がございました。

一般質問につきましては以上でございます。あと 6 月 5 日に陳情が出されてございます。中地区教職員組合から毎年出されてございますけれども豊かな教育を実現するため平成 22 年度教育予算増額を求める陳情、平成 22 年度義務教育費国庫負担制度の堅持を求める陳情、個に応じた教育を実現するための学級規模の縮小弾力化 30 人以下学級の実現を求める陳情、この 3 つの陳情が出されておまして、福祉文教常任委員会で審査されてございます。この 3 つの陳情についていずれも採択をされてございます。国、内閣総理大臣他関係大臣に意見書を出すということで、この意見書提出について最終日の 6 月 12 日に承認をされてございます。以上 6 月議会の報告を終わらせていただきます。

(質疑応答)

石塚委員) 今のご説明でいくつか質問とお願いがございます。まずは工事関係ですけれども(仮称)月京幼稚園の新築工事と耐震工事につきましては入札で無事落札が決まった訳ですけれども、これは何社くらいそれぞれ応募があったのでしょうか。

子ども育成課長) 国府中学校の方が15社で3社辞退ですので12社ありました。ランク的にはAランクでお願いしてありまして一般競争入札ということで15社の内12社の参加がありました。幼稚園の方は工期の方も厳しいということで、超Aランクでお願いいたしました。9社で2社辞退しておりますので7社の入札になりました。

石塚委員) この方式は電子入札とか良く聞かれますけれども、大磯町の場合にはコンペ方式といいますか実際に来てプレゼンテーションをして説明を各社から聞いて最終決定をするという形を採られたのでしょうか。

子ども育成課長) 入札については、ホームページでこの工事がありますということで出しまして、それで参加意向を最終的に受けて、有料ですけれども図面などを配布しまして、図面などに基きまして入札をしていく、たぶん辞退というのは15社がCDの設計図を購入して見たけれども、できないということで辞退して15社希望で手を挙げたけれども、12社の入札があったということで、特にコンペというのは最近はやってないです。金額による入札です。

石塚委員) 関連ですけれども、(仮称)月京幼稚園の場合は解体工事も入っている金額とご説明がありました。設計施工監理費というのは全て入って、さらに解体工事も入って3億5千万円でしょうか。

子ども育成課長) 言い忘れましたけれども、建築と解体は入ってございます。太陽光発電につきましては、1千万程度の工事費がかかりますが、太陽光発電につきましては国庫の正式決定を受けておりませんので、契約をしてしまうと交付されなくなってしまいますので、追加で発注する予定です。今回の契約の中には太陽光発電関係は入ってございません。7月頃国庫の正式決定がありますのでこの契約に追加して変更契約を認めていただく議会の議案としてだしていきたいと中学校と幼稚園と両方考えてございます。ですので、解体は入ってございますが太陽光は入ってないということです。

石塚委員) 前回も話題になりましたけれども、耐震対策のことで昨日の新聞に出ていて、私も興味深く読みました。耐震審査を実施したところは100%ではなく、未公開が17%残っている。未公開とは何だろうと思ったら、発表すると住民に心配をかけてしますからという理由で17%ある。耐震構造が幼稚園、小学校、中学校含めてどれくらい進んでいるのか県別に見ていくと神奈川県は段とつで97.3%で大磯町はこの工事が終われば100%ということで、前向きに進んでいる印象を受けます。これは常日頃、皆様方に注意を図っていただいている証拠だと思います。感謝を申し上げます。あとお願いは「生沢プール」と「幼稚園の将来」についてですけれども、まず「生沢プール」については23年度に国府小学校に学校プールを造ることがはっきりしましたので、この計画よりぜひ遅れないようにしていただきたい。この間、回数はプリンスホテル1回きりで物足りない感じが個人的にしますので、バスで移動するのなら、照ヶ崎プールでも変らない気がしますので検討をお願いします。やはり子ども達が水泳ができない、泳げない子どもがいるのは心配ですので

ぜひ検討していただきたい。

あと「幼稚園の将来構想」については、各議員の皆様方にも心配していただいております。一部「幼稚園の将来構想」について3月にまとまったという表現をされているようですが、教育委員会の中では大磯町の幼稚園の将来像とか、これから検討して一刻も早く将来の形というか大磯町の幼稚園のあるべき姿を追い求めなければいけないということで、是非これは時間のある限り議論を尽してまとめていきたいと思っております。最初に基本的な考え方が必要であると思っております。その基本的な考え方は、1番目はこの前から申し上げているとおり平成17年度大磯町財政化健全計画に伴ったひとつの動き、2つ目は少子化にともなった幼稚園の適正化、4園を2園体制に、これはもう大きな柱になっている。3つ目は民間の力をということですが、町長の公約ということでもあります。これは賛否両論があると思っておりますし、今でも私はどうかと思っておりますが、もっと前向きに考えますと公と民の知恵の融合を図って、就学前の大事な幼児教育を大磯らしい幼児教育を実現する。これが基本的にあって、次は「将来的な形」として大磯の幼稚園とはどういう形が良いのかきちっと描いて、これは今、2園体制ということが結論付けられていますので、そこにどうやってもっていくのか、そのひとつの過程で小磯幼稚園が3月の定例会で23年度の年少園児の入園を止める、これはいくつかある中の1つの行動基準が決まっただけで将来構想が決まった訳ではないと思っております。是非、将来構想を早急にまとめて、そこにはいくつか課題があると思っております。民の力を借りるにしても、どのタイミングでやるのか、どういう民間の幼稚園が適正かということが論じられると思っております。更に、保護者の皆様方の意見をもまとめて織り込んでいって仕上げる。これはやはり今年の12月の議会に正式に上げると聞いておりますので、それまでに少なくとも作っておくべきです。そうすると我々教育委員としても誰に聞かれても、はっきり答えられます。今の私には自信がないです。大磯町の幼稚園はどうなるのですかと聞かれても、どうなるんですかねじゃ困ってしまいます。教育委員会に関係する皆がこうなんだと自信をもって言えるようにしておきたいと思っております。それが12月の議会への対応だと私は思います。

委員長)

この件は3月の中では将来は町立は2園と残りの2園は民間に委託しても4園は維持して行こうという大まかな方向は決まっていますけれども、小磯幼稚園については23年度ということでは話をつきました。あともう1園については、具体的な年度は決まっておきませんのでその辺は決めていかないとやはり皆さん不安でしょうし、我々も説明するのに困ることがありますので、できるだけ早く検討したいと思っております。

あとプールの件でロングビーチ1回ということですが、照ヶ崎をとうい話もありましたけれども、費用のことをあまり言ってもしかたがないですけれども、費用的にロングビーチを有料で借りるのと照ヶ崎にバスでいくのとどちらが費用がかからないのでしょうか。

子ども育成課主幹)

議会の質問の中でも答弁をさせていただきましたが、今年度は別といたしまして、来年度以降については照ヶ崎も含めてバスの送迎を考えていると答弁させていただきました。それにともなって占用使用という手続きをとっている関係もあって開催期間も6月と9月に延長させていただいた中

で、その期間は子どもたち占有で使わせてもらえる面も含めて照ヶ崎や別の所も含めて、プリンホテル以外の所でも開催し回数を増やせる手立ては無いかと今後検討していきたいと考えております。

大橋委員長職務代理者) プールの問題ですが、国府小学校内にプールを造るということで、校庭に造るのでしょうか。

子ども育成課長) 昨年度、教育委員会で検討した中で他の用地を買収することは難しいということで小学校内ということになりました。今はまだはっきりとグラウンドということでは決まってないですけども、県道沿いの空き地もありますがあの辺は25mプールは造れないので、どうしても校庭の北側か東側か西側ということでやっていくのかと思います。教育委員会の検討会でもある程度場所までは決めないまでも、そういう想定はしています。町のスポーツ健康課の方で再度検討にあたってやはり同じようにグラウンド内の北側か東側か西側ということです。県道側は歩道橋の関係もあって覗かれたりすることもあるので場所的にはどうかというところです。

委員長) 中に造るとなると運動場が狭くなる感じがしますが。

子ども育成課長) 学校との調整の中で120mのトラックは確保していただきたいということで、ある程度図面におとしまして120mの外5コースぐらいを図面にあててみますと、どうしてもプールを造ると、グラウンドは今は長方形の形ですけども、正方形の形が残ります。正方形に楕円形のトラックをあてると120mを5コースとってもできるというシュミレーションはしてございます。学校としてはそれが最低の条件ということで120mのトラックを確保できればいいとのことで、学校開放の関係である程度、野球とかサッカーがありますので、その辺で野球の方がきつくなるということがあります。直線では70mぐらいのエリアは取れます。

石塚委員) その場所はあるその山側を背にしてみると奥の方ですか。

子ども育成課長) 月京幼稚園の前の所に造る案もありますし、東側の出っ張ったところは、20mくらいありますのでプールを造るのに23mくらい必要ですのであそこに造るか、体育館の裏に造るか、その辺は専門家にも見ていただいたほうが良いということで、今のところは図面に落としてこの辺ならというところであります。

石塚委員) 公認の25mプールでなくても最低20mで良いのではないですか。

教育長) 公認のプールを造るところまで話がまだ行ってないです。学校のどこに設置するかを学校の先生方と十分相談して決めて行くということです。

子ども育成課長) 教育委員会としては、学校プールということでお願いはしてございますけれども、町側としては全体を考えて社会体育プールもどうかということで、それでもう少し検討をということになっております。社会体育プールだとかかなり法的にも難しい面もありますけれども、やはり学校だけではなく健康づくりの一環としても整備をしたいという考えがありますので、その辺でもう少し検討をということになってございます。

委員長) 学校プールの開放は難しくないというお話でしたので、何らかの形で一般にも開放できる形で、学校でも使いやすく、中心は学校だと思いますので学校に不都合がない形でやっていただけたらと思います。

子ども育成課長) 深さについては、社会体育プールになっても深くしないで下さいとい

うことは言っております。80%くらいは小学生が使いますので、深さについては考えていただきたいと言っております。

委員長) 中学生もつかいますので、中学生の場合は飛び込みの授業もありますよね。  
教育長) 今は、スタートということでやっています。今は逆飛び込みという言葉は使っておりません。スタートということでいろいろなスタートの1つに飛び込みという方法がありますけれども、そこが1番水泳で怖いところでもあります。

大橋委員長職務代理者) 学校プールにした場合、監視員はどのような形で行うのでしょうか。先生方なのか、監視員を置くのか。

子ども育成課長) 学校プールの検討の中でもやはり、夏休みに入ったらすぐに一般開放ということでやっていきたいと考えております。管理上は今までは、生涯学習課に学校教育課から夏休みになると移行するという形を考えておりましたけれども、今回は子ども育成課が授業で使って、あとは開放しますということで町のスポーツ健康課の方に任せまして、スポーツ健康課の方で監視員の予算を取ってやっていく方向で調整してございます。

大橋委員長職務代理者) よく他の町だと保護者の持ち回りというところもありますので安全の面からも、それだと問題かと思えます。

委員長) 余談になりますけれども、私が前平塚にいました時に平塚では、先生方で監視員を募集して調整をしてやっておりました。現在は、東海大グループの中の企業がやっておられるそうです。話は変わりますが、生沢プールの跡地がどうなるのかという情報はありますでしょうか。

子ども育成課長) 一般質問の中でもその件に関して質問がございまして、地元と調整を図りながら、やっていくとうことで具体的にははっきりと回答していなかったように思います。財政課長が所管ですけれども、地元と協議しながらという回答だったと思います。

## 報告事項第2号 (仮称)子育て支援総合センター建設について

子ども育成課子育て支援室長) (仮称) 子育て支援総合センター建設について概要を報告させていただきます。この工事につきましては、6月に実施設計が終了し、これから開発許可申請・入札を経て9月議会で新築工事につきまして契約の締結の承認をいただく議案を出す予定になっております。完成は、3月末で来年4月にオープンを予定しております。

それではお手元の資料に基づきまして説明させていただきます。A4の建設概要及びA3資料の1枚目の案内図をご覧ください。工事場所ですが中郡大磯町国府新宿131番他2筆で旧国府幼稚園の跡地に建てるものです。建物に関しましては、軽量鉄骨造の平屋建てということで、述べ面積は292㎡、高さ5.6mとなっております。

主要室等につきましては、A3資料の2枚目の平面図をご覧ください。子育て支援センターとして中央にフローリングと畳の部屋を配置した集いの広場・相談室2室・休憩授乳室1室及び事務室を配置しております。また北側子育て支援センター入口隣にファミリーサポートセンター事務室、西側に地域交流スペースを配置しております。入口は北側に2ヵ所あり、そのうち

1ヵ所は夜間又は休日に地域交流スペースを国府新宿地区の方が利用する際に子育て支援センターと別に利用できるよう設置しているものです。また子育て支援センター事務室とファミリーサポートセンター事務室は一体的な活用が可能であり、職員配置を考慮した場合、子育て支援センターの受付事務等もファミリーサポートセンター事務室で行うことになると考えております。なお、工事費等を見直した結果南側のウッドデッキ・子育て支援センター入口につながるキャノピーは設置しないこととなっております。

これらの主要室等で行う事業内容等については、子育て支援センターは、子育て家庭等に対する育児不安等についての指導、子育てサークル等への支援などを通して、地域の子育て家庭に対する育児支援を行うことを目的とするもので、専門のスタッフを配置し育児等の相談に応じるとともに、集いの広場において、安心して遊べる遊び場、親同士の交流をはかる場所を提供してまいります。

ファミリーサポートセンターは、地域において育児等の援助を受けたい人と行いたい人が会員となり、育児等について助け合う会員組織であり、このセンターにおいて利用申し込み、サポーターの派遣を仲介等してまいります。

地域交流スペースでは、寄付者の意向でもある母親に学びの場を提供するとともに、国府新宿の地域住民も会議等で活用できるスペースとなっております。

使用設備につきましては太陽光発電を設置しており、月京幼稚園等と同様に環境に配慮したものとなっております。A3資料の2枚目の屋根伏図のソーラーパネルのところが設置場所になります。

スケジュールにつきましては今後詳細が決定次第改めてご説明したいと考えております。説明は以上となります。

(質疑応答)

石塚委員) 立派な建物ができますので有効活用していただきたいと思いますが、今、お話のありました子育てに対する支援に、これにはかなり専門的なスタッフが必要だと思いますが、このセンターに専従され方は何名くらいですか。従来の職員の方で補充は可能なのでしょうか。

子育て支援室長) 今、専従という形で2名程度職員を補充する方向で考えています。後はその中で専門的なスタッフを臨時的に雇用するのかなど、その辺の運営については検討していく必要があると思います。

石塚委員) 専門的なスタッフは新規で採用しなければならない感じでしょうか。

子育て支援室長) 今、まだどのような運営形態でやるか検討中ですので、世代交流センターの方でやっている支援センターの方は、新生会というところに委託をしております。そこの基本的に講習を受けた子育てアドバイザーという方がいます。これからどういう運営にするのかということを検討した中で専門的なスタッフの配置も必要となってくると思います。

委員長) 現在、世代交流センターの中でやっていることを参考にしながら今後の運営を考えて行くということですね。

大橋委員長職務代理者) ファミリーサポートセンターとありますが、ここの電話をとる人というのはこういった職種になるのでしょうか。

子育て支援室長) 今の職員の配置を考えた場合、ファミリーサポートセンターでは電

話とパソコンがあって利用したい方と、サポーター、要するにサービスを提供したい人がそれぞれ登録する形になります。事業開始当初はサポーターの方の新規登録がありますが、通常は、電話で利用したいとの申し込みに対してサポーターを仲介する役割が主になるので職員の配置を考えた場合子育て支援センターの受付や相談事務の部分がある程度一体的に考えた方がそれぞれ職員を配置するより良いのではないかと考えますので、子育て支援センターの職員もある程度そこに関わってくる形になると考えております。

大橋委員長職務代理者) だれでもそこにいられるということで個人情報漏れないのでしょうか。

子育て支援室長) 職員が対応することになりますので守秘義務の方はしっかりしています。

委員長) 地元の説明会の時に太陽光発電5kwという話を聞きました。それと湯沸室にガスは使わずに電気でしょうか。太陽光を設置していますのでガスを使わずに電気だと思っております。

子育て支援室長) 太陽光発電につきましては当初は5kwということでしたが、その後正式に測ったところで、3.2kwくらいではないかという報告を受けております。一応、平面図にも書いてありますけれどもIHヒーターを使用することで、ガスの使用はないということです。

教育長) 5月28日に最終的な図面をもって寄付者のところに行って参りまして、今回のことを報告して参りました。

石塚委員) 土地がいっぱいいっぱいになっていて仕方ないのかと思いますが、芝生の庭はないのでしょうか。

子育て支援室長) 芝生は、一応南側の下側のウッドデッキから出れる所に作る予定になっています。ウッドデッキはなくなりましたがそこは出やすい形にして行こうと思います。

石塚委員) そこはどれくらいありますか。

子ども育成課長) 幅が2mくらいです。

## その他

子ども育成課長) 次回の定例会につきましては7月22日9時から大磯町役場4階委員会室を予定してございます。7月11日に保健センターで大磯町立学校PTA連絡協議会の役員の方との懇談会がありますのでよろしくお願いいたします。

(閉会)

会議の経過を記載し、その相違ないことを証しここに署名する。

平成 21 年 7 月 22 日

委 員 長 \_\_\_\_\_

委員長職務代理者 \_\_\_\_\_

委 員 \_\_\_\_\_

委 員 \_\_\_\_\_